

授業科目：保存修復学(社会人)

学修目標

歯頸部に生じる硬組織疾患に関して、その発症原因、臨床症状ならびに治療法に関する知識を身に付ける。とくに、超高齢社会の到来に伴って今後ともその増加が予想される根面齲蝕を含む歯頸部疾患について、その原因と処置法を学修するとともに、歯質接着材料を含めた最新の治療材を理解する。

■教科書：適宜プリントを配付

■参考書：The Art and Science of Operative Dentistry (Mosby)

Tooth-Colored Restoratives (Alto Books)

Adhesive Technologies for Restorative Dentistry (Quintessence)

■オフィスアワー：宮崎 真至 月曜日 18:00～19:00

陸田 明智 月曜日 18:00～19:00

黒川 弘康 月曜日 18:00～19:00

高見澤俊樹 月曜日 18:00～19:00

坪田 圭司 月曜日 18:00～19:00

■成績評価：出席状況、受講態度およびグループディスカッションなどから総合評価を行う。

■注意事項：特になし

■準備学習：事前に参考書を読んで授業内容を理解しておくこと。

授業日・担当者	テーマ	具体的内容
第1回4月6日(土) 宮崎 真至	根面齲蝕とは	根面齲蝕の臨床における位置付けについて学修する。
第2回4月13日(土) 高見澤俊樹	疫学	根面齲蝕の齲蝕罹患状況について学修する。
第3回4月20日(土) 高見澤俊樹	リスク診断	根面齲蝕のリスク診断について、その検査に使用される器械や方法について学修する。
第4回5月11日(土) 高見澤俊樹	病因・病態	根面齲蝕の病因と病態の特殊性について学修する。
第5回5月18日(土) 黒川 弘康	治療方針	根面齲蝕治療における切削あるいは非切削処置について理解する。

授業日・担当者	テーマ	具体的内容
第6回5月25日(土) 黒川 弘康	修復処置(1)	歯質接着性材料における接着機構の概論について学修する。
第7回6月1日(土) 黒川 弘康	修復処置(2)	最近のコンポジットレジン材料および接着システムについて学修する。
第8回6月8日(土) 坪田 圭司	修復処置(3)	最近のCAD/CAM材料およびレジンセメントについて学修する。
第9回6月15日(土) 坪田 圭司	修復処置(4)	歯質接着材料の役割について、臨床症例から学修する。
第10回6月22日(土) 坪田 圭司	修復処置(5)	フッ化物あるいは抗菌剤の予防および非齲窩性病変への応用について理解する。
第11回6月29日(土) 陸田 明智	修復処置(6)	シールドレストレーションの理論および術式について学修する。
第12回7月6日(土) 陸田 明智	修復処置(7)	補修修復のコンセプトおよび術式について学修する。
第13回7月13日(土) 陸田 明智	予防	齲蝕のリスク管理と予防法について学修する。
第14回7月20日(土) 宮崎 真至	総合討論(1)	根面齲蝕症例についてグループディスカッション形式で検討する。
第15回7月27日(土) 宮崎 真至	総合討論(2)	MIの概念に基づいた治療についてグループディスカッション形式で検討する。